

Trimble RealWorks Ver.12.2 アップデート一覧

<インポート/データ管理>

1/2

項目	機能	機能概要
新機能	Trimble X12 レーザスキャナサポート	Trimble X12スキャナ・Trimble Perspectiveソリューションのサポートを追加しました。 Trimble X12によるエリアスキャンやきわめて高度なスキャン、HDRイメージをサポートし、PerspectiveからTDXフォーマットにより登録されたデータやスキャナにダイレクトに保存されたデータを取り込みます。
改良	単一のサイズが大きなスキャンファイルのサポート	構造化されたスキャンや非構造化スキャンの両方についてインポート処理を改善しました。 Trimble X12により生成される可能性のある、4億点以上の単一のスキャンを取り扱うことが可能となっています。これにより、インポート処理は利用可能なメモリの容量により制限されなくなりました。 表示や処理のパフォーマンスを最大化するためには、複数スキャンを1つのエンティティに入れ込むのではなく、実際のスキャンを保持するように、データをそのままインポートすることをお勧めします。

<分類>

改良	自動分類（屋外）	自動分類（屋外）コマンドのアルゴリズムを改善しました。航空LiDARによるスキャンでは建物については外観はなく屋根だけがスキャンされますが、そのようなデータからでも建物を自動検出できるようになりました。
改良	TZFスキャンからポイントを除去	TZFスキャンからポイントを除去コマンドにおいて、同一ステーションから計測された複数のスキャンをサポートするように改善しました。Trimble X12やTXシリーズのエリアスキャン機能を使ってそのようなデータを生成することができますが、選択されたポイントクラウド内の個々のポイントは、ポイントが所属するスキャンから除去されます。オリジナルのTZFスキャンから削除し、その後で、鉄骨梁の自動分割コマンドや移動オブジェクトの自動分割コマンドを実行するといったことが可能です。

<検査と比較>

改良	3D検査	3D検査コマンドでクラウドとメッシュを比較する際のアルゴリズムのパフォーマンスを大幅に向上させました。特に、建物など、大きな三角形で構成された壁のようなCADモデルから取得した、様々な大きさの三角形を含むメッシュの場合に効果的です。
----	------	--

<修正項目>

修正	JXLインポート	範囲0のポイントを持つJXLファイルの場合の処理を修正しました。
修正	ZFSインポート	Ver.12.1から発生していたパフォーマンスの問題を修正しました。
修正	ZFSインポート	Ver.12.0から発生していた暗い輝度の問題を修正しました。
修正	ZFSインポート	水平化されたスキャンの高度の問題を修正しました。

Trimble RealWorks Ver.12.2 アップデート一覧

2/2

修正	PTSインポート	ファイル名に従ってステーションが命名されるようにしました。
修正	E57エクスポート	Ver.12.1から発生していた3D検査の色のエクスポートを修正しました。
修正	OBJエクスポート	テクスチャを貼ったメッシュのフォーマットの問題を修正しました。
修正	RCPエクスポート	アプリケーションのクラッシュやポイントのロスが発生していた特定のケースにおいて安定性を向上しました
修正	発行	利用可能なビデオメモリの見積もりを改善しました。
修正	Scan Explorer パブリッシャー	点が少ない時に生成ボタンが時々動作しない問題を修正しました。
修正	ターゲット自動抽出	スキャンが密集している状態でスキャナの近くのターゲットの検出処理を改善しました。
修正	TZFスキャン合成	稀に平面抽出や、豪税の改善、レポートにおいてアプリケーションがクラッシュする件を改善しました。
修正	点群ベースの合成	時々不安定になる件を修正しました。
修正	スキャンを使用して合成を改善	UIと出力されたレポートにおいてステーションの順番を改善しました。
修正	鉄骨梁の自動分割 移動オブジェクトの自動分割	必要に応じてTZFスキャンの再投影ができるようにしました。
修正	自動分類（室内）	大量のポイントでも堅牢に動作するようにしました。
修正	メッシュの編集	穴を埋める際にアプリケーションがクラッシュする件を修正しました。
修正	点群ベースのモデル作成ツール	四角形のボックスを拡張する際にアプリケーションがクラッシュする件を修正しました。
修正	ビデオ作成ツール	いくつかのポイントクラウド表示オプションを利用している際のプレビュー表示の問題を修正しました。
修正	点群のマージ	操作を簡単にするために最初のポイントクラウドの名前を使用するようにしました。